

Aichi University

Lingua



INSTITUTE FOR LANGUAGE EDUCATION, AICHI UNIVERSITY

No.2 July 2013



ในฟ้าสีคราม 青い空の下で

古都アユッタヤー（世界遺産）のワット・チャイワッタナーラーム
ピクニックしたら気持ちいいね!!

CONTENTS

◎ 特集 外国語検定試験特集 ～あなたもぜひチャレンジしよう！

語学の担当教員が勧める検定試験の案内と受験学生の体験…………… 2～18

英語	経営学部 石原 知英	法学部3年 森 優香子	法学部3年 西村 瑳保理
ドイツ語	経営学部 島田 了	国際コミュニケーション学部2年 中島 光一	
フランス語	法学部 中尾 浩	文学部2年 杉田 竣祐	
中国語	国際コミュニケーション学部 塩山 正純	文学部2年 川口 舞	
ロシア語	経済学部 清水 伸子		
韓国・朝鮮語	国際コミュニケーション学部 片 茂永	短期大学部2年 戸澤 智美	
タイ語	国際コミュニケーション学部 加納 寛		
日本語	地域政策学部 中崎 温子	経営学部4年 紀 薇薇	

◎ 洋書を楽しく読み終える ～「虹読み」のおススメ～ 法学部 小坂 敦子 …… 19

◎ 2012年度第18回 外国語コンテスト（名古屋校舎）報告 …… 20～28

2012年度外国語コンテスト講評と入賞作 …… 20

- e-learning 利用していますか？ …… 29
- 豊橋校舎「ランゲージセンター」「Language Cafe」のご案内 …… 30
- 2013年度 外国語検定試験奨励金のご案内 …… 32
- 編集後記 …… 32



外国語検定試験特集 ～あなたもぜひチャレンジしよう!

語学の担当教員が勧める検定試験の案内と受験学生の体験

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国・朝鮮語・タイ語・日本語



英語の資格試験

経営学部 石原 知英



日々の学習の成果が目に見えにくい英語の力を数値化してくれるのが、資格試験です。せっかく学習を積み重ねていても、ふと、本当に英語の力が身につけているのだろうか、この学習方法でいいのだろうか、と思い悩むこともあるかもしれません。普段の生活の中で英語が使える実感があればいいのですが、日本で暮らしていると、なかなかそういった機会はないでしょう。そんな時は、検定試験を受験するのがお勧めです。定期的な受験することで、学習の成果を実感でき、今後の学習の励みになります。また、学習の成果が資格という形で残りますから、将来の就職などにも役に立ちます。本稿では、数多の英語関連の資格試験から、有名どころを紹介します。それぞれに特徴があるので、目標に応じて受験してみましょう。

(1) 実用英語検定試験 (英検)

英語の能力を、スピーキング・リスニング・ライティング・リーディングという4つの技能から構成されると捉えるなら、その4技能をバランスよく測定、評価できるのは、実用英語検定試験、通称「英検」です。2013年度の英検は、6月、10月、1月の3回実施されます。初めて受験するなら、高校卒業レベルの2級から始め

るのが適しています。在学中に準1級、あるいは1級が取得できれば、自信を持ってアピールすることができます。

英検には、1次試験(2級は多肢選択、準1級・1級は記述式あり)と2次試験(面接)があります。1次試験は読解と聴解が中心で、短文の空所補充や長文の内容理解問題、英作文、リスニング問題があります。2次試験は面接形式で、音読課題(2級)、4コマのイラストを説明する課題(準1級)、スピーチ課題(1級)を中心に、面接者の質問に答えたり、考えを伝えたりする課題に取り組みます。

英検に合格するためには、4技能をバランスよく伸ばすことが肝要です。特にスピーキングは、個人学習にも限界がありますから、Communicative English(1年次必修)やCommunication Skills(3・4年次選択)といった科目を履修し、英語を話す機会を増やすとよいと思います。また、難易度の高い単語が多く出題されますので、学内外で利用できるALC Net AcademyのPower Wordsなどを活用し、語彙力アップにも力を入れてください。

(2) TOEIC

TOEICは、主にビジネス場面での英語コミュニ

ニケーション能力を評価する試験で、2013年度は、8月と2月以外の毎月実施されています。ビジネスに限らず一般的な英語力の指標としても有用であることから、本学では1、2年次の学年末に TOEIC IP を受験することになっていますので、みなさんにとっては最も馴染みのある試験かもしれません。就職活動の際にスコアの提出を求めたり、昇進の条件としてスコアを用いる企業も多いようです。スコアは10点から990点までで評価されます。1年生450点、2年生550点、3年生650点というあたりが目安でしょうか。英語を専門とする学生のみなさんは、730点はクリアしておきたいですね。

TOEICは、リスニング(45分間・100問)とリーディング(75分間・100問)で構成され、写真描写問題(Part 1)、応答問題(Part 2)、会話問題(Part 3)、説明文問題(Part 4)、短文空所補充問題(Part 5)、長文空所補充問題(Part 6)、読解問題(Part 7)が出題されます。全てマークシート方式のテストですが、まぐれでよいスコアが取りにくい採点方法を取っており、スコアが安定していることに定評があります。

TOEICは、試験時間が長い上に、問題の量が多く、メモや書き込みが不可など、慣れるまでは大変に感じるかもしれません。また、頻出するビジネス関連の語彙知識も、ある程度身につける必要があります。スコアアップには大量の問題演習をこなすことが近道ですので、ALC Net Academy の TOEIC コースなどを利用して学習を進めましょう。2年次必修の TOEIC I に続けて、選択科目の TOEIC II を履修するのもお勧めです。

(3) TOEIC S/W

2007年から新しく実施されているのが、TOEIC S/W テストです。2013年度は毎月実施され、12月までの日程が確定しています。

TOEIC S/W は、スピーキングとライティングに特化した試験で、それぞれの技能をより直接的に測定できます。最近、知名度が徐々に高まってきていますので、就活などで他の応募者との差別化を図り、「使える」英語力をアピールするためにも、有用なテストだと思います。

TOEIC S/W テストは、試験会場の PC を使って受験します。スピーキングは約20分で11問(音読問題2問、写真描写問題1問、応答問題3問、提示情報を用いた応答問題3問、解決策を提案する問題1問、自分の意見を述べる問題1問)の構成で、ヘッドセットで音声を聞き、解答を吹き込みます。ライティングは約60分で8問(写真描写問題5問、メール作成問題2問、意見記述問題1問)の構成で、指示に従ってキーボードで解答を入力します。

TOEIC S/W テストはまだ新しいため、それほど問題集や参考書が多くありません。まずは公式問題集から始めてみるのがよいでしょう。また、2年次以降の選択科目 Writing I/II のクラスを履修するのも効果的です。ヘッドセットを使ったり、タイピングによって解答を入力するため、そうした基礎的なスキルも必要となります。厚生棟4階の CALL 教室にはそうした設備もそろっています。

(4) TOEFL iBT / TOEFL ITP

TOEFL は、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストです。英語圏の多くの大学で TOEFL のスコアを留学生受入れ要件として設定しているため、留学を考えている学生のみなさんには必須の試験です。この4月には、自民党教育再生本部による「大学の受験資格や卒業要件に TOEFL のスコアを用いる提言」がなされるなど、今後の動向も注目されています。

TOEFL には様々な受験形態があり、ややこ

しい印象があるかもしれません。TOEFL iBT が公式スコアで、0 から 120 点で評価されます。愛知大学では、派遣留学のため、団体受験制度である TOEFL ITP (677 点満点) が実施されています。iBT と ITP では問題の形式や内容が異なるため、注意が必要です。また、大学によって要件とするスコアも異なりますので、留学を考えている学生のみなさんは、国際交流センターで確認してください。一般的には、iBT なら 70 点程度を、ITP なら 550 点程度を目標とするとよいでしょう。

TOEFL iBT は、試験会場の PC を用いた試験で、4 時間程度をかけてスピーキングやライティングを含む多種多様な問題に取り組みます。

TOEFL ITP は、従来の紙とマークシートを用いた試験で、およそ 2 時間の試験です。リスニング (50 問)、文法 (40 問)、読解 (50 問) の 3 つのパートから構成され、310 点から 677 点で評価されます。過去の TOEFL 問題を利用していますが、こちらにも採点の際に統計的な処理を行っているので、スコアの安定性は十分高いと言えます。

どちらの試験でも、海外での大学生活を想定しているため、講義を聞いて理解する問題や、キャンパス内での事務的な手続きに関する内容の問題が出題されます。特に iBT では、総合的な高い英語運用能力が求められると言えるでしょう。

これらの他にも、国連英検やビジネス英検、通訳案内士 (通訳ガイド) 試験など、様々な資格試験があります。語学教育研究室では、それぞれの試験で一定以上の成績を取った学生に、奨励金を贈っています。みなさんの学習の成果を確認し、今後の学習に繋げていくためにも、是非積極的に資格試験を利用してみてください。

TOEIC と私

法学部3年 森 優香子

私は英語が好きでも得意でもない。ましてや TOEIC は今まで受けた様々な試験のうち最も嫌だと思った試験だった。(ちなみに二番目は愛知県の某私立高校の入試問題。)

その1 解いていてつまらない

問題が短文でストーリーもなにもなく、問題を解くというより処理する形式でおもしろ味が全くない。センター試験の方がまだ解く気になった。

その2 TOEIC の点数 = 英語力とはいえない

英語が得意な人ほど点数がとれることは否定しないが、語学力に直結するものではない、と個人的に思う。

その3 特化した対策をすれば点数がとれる

英語が苦手でも、専用の問題集を使って対策をすれば点がとれる。資格試験であると考えれば普通にも思えるが、足切りの判断にするのはいかなものか。実践出来なければ意味がないのでは。

このような理由から、私がこれまで TOEIC を受けたのは学内で強制的に受験させられた 2 回だけだが、問題集を使って独学で勉強した 2 回目には、1 回目の点数を 100 点以上上回り、目標の 600 点を達成することができた。英語より数学が好きで、英語を自分から積極的に勉強しようとは思えないこの私が。

ということは、TOEIC は勉強すればその分結果として返ってくる、頑張れば誰でも取得できる資格であるということだ。

散々文句を言ったが、TOEIC は今後ますます避けて通れない道となることも承知している。(私はもう満足したのでしばらく受験する

予定はないが。)でも、英語が嫌いな人も苦手な人も、TOEIC に関しては諦めることはない、と私が自信をもって言いたい。だって勉強したらちゃんと点数とれたんだもの。

最後に、前回のTOEICの対策の際に相談にのっていただいた石原先生、国コミュの4年生の先輩に、この場を借りてお礼を申し上げます。ちゃんと目標点数とれました。ありがとうございます。また、もし気が変わって受験しようと思ったときには、ご指導よろしくをお願いします。

TOEIC と私

法学部3年 西村 瑠保理

「我が社の公用語を英語にします」というセリフから始まる某インスタント麺企業のCMがある。不安に駆られる中、必死に外国人の上司に立ち向かおうとする甲冑を着たサラリーマンたちを描いている。最初は「英会話の塾の宣伝か?」とも思ったが、最後には某社の看板商品が出てきて「これかい! (笑)」と安心させてくれたのと同時に、まるで某ネット関連企業を皮肉っているようでクスッとさせてくれた。その中に英検3級、TOEIC 300点というセリフが出てくる。点数云々はおいといてTOEFLを含めこれら日本人がどれか一つは必ずと言っていいほど受けている英語の資格だ。

特徴としてTOEICはビジネス色満載であり、TOEFLは学術的内容により小宇宙が生成されているといっても過言ではない。その点、英検は日常的なものからアカデミック、ビジネスと幅広い。英検は他の2つと違い、合格点さえとればよい。つまり満点の人も胴体着陸の人も等しく級がとれるのである。うむ、魅力的。勉強方法は、一次試験では3級までは文法中心で

よいだろうが、準2級以上になると話は変わる。文法力と共に語彙力をつけなければならない。さもないと、ギリで一次落ちという悲劇的現象が頻発する。ただ、単語帳をやりこむほどではなく参考書の単語のリストの意味が分かる程度でいいだろう。1級には記述問題もあるが今回は割愛させていただきたい。一次を突破すると次に待ち構えているのは面接だ。ここで重要なのはとにかく積極性をアピールし評価の一つ attitude の点を稼ぐことである。面接で何があるかわからないことも考慮し是非とも満点をいただいておきたい。さて、正直、大学生になるとTOEICの派手な出現に伴い英検の影は薄くなる。と言っても国内なら認知度もあり全く使えないこともないはず、多分。ここまで英検を例に話を進めてきたが、これら資格試験は英語を学ぶという目的・手段の一つであればいいだろう。何より重要なのは、「英語を学びたい」という意思だと私は思うのである。



ドイツ語検定

経営学部 島田 了

ドイツ語技能検定試験について

ドイツ語技能検定試験(独検)は、公益財団法人ドイツ語学文学振興会が主催する検定試験で、1992年に始まったものです。当初は、1級、2級、3級、4級で始まりましたが、後に準1級と5級が追加され、より幅広いレベルに対応することになりました。試験は、春季(6月)と秋期(11月)の年2回行なわれています(ただし1級、準1級については秋期のみ、かつ二次試験として口述試験が別日程であります)。

会場については、ほぼ日本全国の主要な都市で用意されていて、名古屋では、現在のところ名古屋大学が会場となっています。受験資格について制限はありません。各級の規準については以下に簡単に説明したいと思います。

各級の規準

5級：初歩的なドイツ語を理解し、日常生活でよく使われる簡単な表現や文が運用できる。

4級：基礎的なドイツ語を理解し、初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文を運用できる。

3級：ドイツ語の初級文法全般にわたる知識を前提に、簡単な会話や文章が理解できる。

2級：ドイツの文法や語彙についての十分な知識を前提に、日常生活に必要な会話や社会生活で出会う文章が理解できる。

準1級：ドイツ語圏の国々における生活に対応できる標準的なドイツ語を十分に身につけている。

1級：標準的なドイツ語を不自由なく使え、専門的なテーマに関して書かれた文章を理解し、それについて口頭で意見を述べることができる。(以上、公式ホームページ「独検 online (www.dokken.or.jp/)」より)

勉強の仕方

愛知大学の共通教育でドイツ語の授業を受けている学生であれば、4級以上の合格を目指してください。1年次の秋で4級、1年間の学習が修了した時点で3級あたりがひとつの目標になるでしょう。さらに2年次以上でもドイツ語を履修するなどして、学習を続けた学生であればぜひ2級を目指して勉強してください。また短期語学セミナーに参加した学生や留学を経験した学生はさらに上級の準1級、1級に挑戦してみてください。

試験全体の特徴としては、実際の会話などのコミュニケーション能力に特化したものではなく、基本的な語彙や文法の力を問う問題も多く、大学での授業を意識したものとなっています。勉強する場合には授業で使っている教科書以外に、なるべく多くドイツ語の文章に触れるなどして語彙を増やすことを心がけてください。またすべての級で聞き取り試験が用意されているため、聞き取り試験対策の練習も必要となるでしょう。以上の点を気を付けながら準備するようにしてください。

各級に対応した参考書、問題集は各種出版されていて聞き取り試験にも多くの教材が対応しています。名古屋校舎では図書館やメディアゾーンに、豊橋校舎では3号館ランゲージセンターに資料が用意されていますのでこちらも積極的に利用するようにしてください。

手続き

受験要項は、大学生協または書店で入手することができます。書店での受験要項配布は、春季は3月下旬以降、秋期は8月下旬以降になります。書店にない場合は事務局(連絡先は末尾)へ請求することもできます。また検定料の払い込みも、郵便振替以外に、大学生協または受付書店でおこなうこともできます。詳しくは、要項をご確認ください。

2013年度春季の試験日は6月23日で、受け付けは5月17日で終了しています。2013年度秋期の試験日は11月23日となり、受け付けは9月1日から10月11日までです。受付期間にご注意ください。

申し込みの際、4級を受けようか3級を受けようかと迷っている場合には、4級と3級のふたつの級を組み合わせで1日で受験することもできます、もちろん5級と4級、3級と2級という組み合わせも可能です。受験料も併願の場

合には割引がありますので検討してみてください。

その他検定試験

今回は最も受験しやすいと思われるドイツ語技能検定試験について紹介しました。これ以外にも、オーストリア政府公認ドイツ語能力試験や、ゲーテ・インスティトゥートによる各種の検定試験があります。これらの資格はドイツをはじめ世界中で広く認められるものです。これらの資格については複雑なためここで簡単に説明することはできませんが、もしこれらの試験にも関心がある場合は、一度ドイツ語担当の教員にお問い合わせください。

ドイツ語検定に関する問い合わせ先

・独検事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷
5-29-12-1006 電話 03(3813)0596 土日祝休
公式ホームページ「独検 online (www.dokken.or.jp/)

ドイツ語検定受験体験記

国際コミュニケーション学部2年
中島 光一

伝統的な石造り、木造建築の建物が多く混在し軒を連ねる住宅地、窓先にはなんでもない花瓶に花が挿してある。そして石畳のデコボコした道、見上げてみれば空が広い。電線がないんだ。少し道を入ると、またあのおっさんが昼間からビールを飲んで、ご機嫌にご鼠耳クラブの応援歌を口ずさんでる。これは私が持っているドイツの街並みのイメージです。私はその街並み中、時代錯誤のデコボコ道の上を自転車に乗って旅したいという夢があり、ドイツ語を第二言語として選択しました。

ドイツ語検定（以下独検）はそんなドイツ語の自身の成熟具合を図るために利用しました。私が独検を受験するにあたって、最初にしたことは書店で検定本を読み漁り、独検の対策を練りました。そして思ったことは、大学の教科書でほとんどのことは足りるということです。日常の会話表現、イディオムはもちろん、文法が單元ごとに例文がいくつか書かれているので、教科書をしっかりやれば口語的に、文語的にドイツ語を理解することができます。しかし、教科書だけでは独検の語彙範囲を網羅するのは難しいと思うので、ここは市販の単語帳を買うことをお勧めいたします。

単純作業というのは、非常につまらないし、飽きてしまう。なので、日常にどれだけドイツ語を昇華できるか、どれだけ楽しくやれるかの2点に重点を置いてやっていました。例えば、通学中。車のナンバープレートを見て数字をドイツ語でとっさに言えるか、また、今自分は何をしているのか（もちろんこの問いの投げかけもドイツ語で！）ドイツ語で答えてみるなど楽しみながらやっていました。

私にとって検定試験はあくまで通過点であり、ゴールではありません。私のゴールは強い夢です。ゴールまでの道のりは紆余曲折、いろんな道があると思います。時に険しくもあるのかと。しかし強い目標を持てば、どんな道であっても乗り越えがえのある道になると思います。独検のその先へ。Viel Spaß!!



フランス語検定

法学部 中尾 浩

英語ほど多くはありませんが、日本で受験できるフランス語の公的な検定試験は4つあります。まず第一は仏検、次に DELF、三番目が TCF、最後が TEF です。このうち、最後の TEF は受験会場が東京と大阪だけで、わざわざ愛知県から受験に行くのは遠いので、その他の3つについて紹介します。

まず第一の通称「仏検」、正式名称「日本フランス語検定試験」は1981年から日本で行われているフランス語力をはかる試験で、30年以上の伝統があり、日本で一番ポピュラーなフランス語の検定試験でしょう。今の愛知大学のカリキュラムから考えれば、1年間しっかり勉強すれば5～4級には合格できると思います。もし2年生になってフランス語応用も受講したり、その他のフランス語会話関係の授業などを受講していれば、6月または11月の試験で4～3級の合格も可能だと思います。仏検合格を目指して独自に勉強をすれば、おそらく2年目の11月あるいは3年目の春にはほぼ確実に3級までは合格できるだろう、というのが大まかな指導の方針です。教える側としても3級まで合格してくれば御の字で、3級を持っていれば短期フランスセミナーでもオルレアン大学への長期留学でも何とかこなせるレベルだと思います。問題はその先で、準2級、2級にはなかなか合格できません。これは他の大学の例を見ても難しいようなので、愛知大学から恒常的に準2級以上の合格者が出るような指導ができればなあと思っています。

次は DELF（デルフと発音します）ですが、こちらはフランス教育省によるフランス語の

免状で、正式名称を Diplôme d'études en langue française と言い、実は DELF 以外に、全くの初心者向けの DILF（Diplôme initial de langue française）と高度な実力が求められる DALF（Diplôme approfondi de langue française）と呼ばれるものがあります。さらに DELF の中も5つに分類されているという複雑な仕組みですが、ほとんどのフランス語圏の大学で勉強するためには一般 DELF（DELF tous publics）の A1 から B2 のどこかの級に合格していることが求められます。ちなみに、愛知大学が提携を結んでいるオルレアン大学は A1、パリ大学（デイドロ校）は B1 を目安としています。こちらはフランス政府公認だけあって、試験の指示も問題もすべてフランス語で日本語はどこにも一切書かれていませんし、放送でも流されません。いきなりでは面食うだけなので、事前の準備がかなり必要です。

大まかな目安としては DELF の A1 が仏検の3級レベル（もう少しハードルは高いかなと思われれます）と考えられているので、途方もないレベルではありません。したがって仏検の3級以上に合格した人は、ぜひ DELF にもチャレンジしてほしいと思います。履歴書の資格欄に「DELF（フランス政府公認資格）A1 合格」と書けたら、カッコいいですよ！

最後に TCF（テー・セー・エフと発音します）です。こちらの正式名称は「Test de connaissance du français」で、これもフランス教育省のフランス語学力試験です。こちらは英語の TOEIC などと同じく、スコアで結果を知らせてくれますので、合格・不合格ではありません。大まかな目安としては TCF の 100 点から 199 点が DELF の A1、以下、100 点刻みで、A2, B1 と対応しているとみなされています。

このところ、愛知大学のフランス語学習者の意欲が高まってきて、2013年の春には DELF

の試験に数名が挑んでいます。また仏検も各自の目標に応じて多くの学生がチャレンジしています。せっかく習い始めた英語以外の新しい外国語です。仏検や DELF 合格を目標にして一緒に頑張りませんか？

仏検を受験して

文学部2年 杉田 竣祐

私は昨年の秋に仏検を受験しました。私が仏検三級合格に至った勉強法などを書いていきたいと思います。

仏検の勉強には大学の教科書の他に、文法の参考書一冊と単語集を一冊使いました。参考書は駿河台出版社の新・リュミエールを使いました。文法事項と例文、練習問題が載っていて、これを一通り憶えれば三級で出る文法は殆ど分かるようになると思います。一年次に仏検三級を受験する場合は、大学の授業でまだやっていない所も自分で勉強しなければいけないので、参考書があると便利だと思います。授業より先に勉強して、ある程度理解してから授業を受けると理解もより深まるのでお勧めします。

単語集は、仏検の級ごとの単語がまとめられているものを使いました。試験に出たのは日常的に使う簡単な単語が多かったので、基本的な単語を正確に憶えることが高得点に繋がると思います。

参考書や単語集で憶えるだけでなく、実際に憶えたことを使ってみると良いと思います。例えば、身の回りの物をフランス語に訳してみたり、時計を見たときフランス語で時間を言ってみたりすると良い練習になると思います。外国人の先生と話をしたり、友達と会話の練習をするのもとても効果的だと思います。また、試験

にはリスニング問題もあるので練習しておくと思います。インターネットにリスニング教材を公開しているサイトもあるので利用すると良いと思います。

語学検定は、自分の語学の能力を知ることができますし、学習のモチベーションも上がると思うので積極的に受験することをお勧めします。



中検4級、3級への挑戦 発音問題をクリアしよう

国際コミュニケーション学部

塩山 正純

外国語の学習で、資格はゴールではなく、あくまでチカラ試しですが、例えば中検合格を目指して必死に勉強するうちに結果として中国語のチカラが身に付くこともあります。ですから、検定に一所懸命になるのも悪いことではありません。今回は中検の得点アップのカナメでありながら、多くの学習者が苦手意識をもっている筆記試験の発音問題について考えてみましょう。

愛大で第二外国語の中国語は、1年生で週2時間、学部によっては2年生でも週1、2時間の授業があります。中検は「日本人が外国語として中国語を学んだ到達度」を測る試験で、中検HPの各級の認定基準は、4級が「一般大学の第二外国語における第一年度履修程度」、3級が「一般大学の第二外国語における第二年度履修程度」となっています。恐らく最初に挑戦する4級は1年生の勉強を終えたか、その一歩手前、それから3級は2年生の勉強を終えたあたりが一応の目安になります。

皆さんも経験があると思いますが、恥ずかし

がり屋の日本人は(黙って)読んだり、(黙って)書いたり、(黙って)聴いたりする勉強は得意ですが、声を出すことを極力避ける傾向があります。普通の筆記テストはそれでも得点出来てしまいますが、実はここに落とし穴がありますが、外国語学習の目的が、昔のように読解で知識を得るだけなら、これでも一向に構いませんが、いまは時代がコミュニケーション能力を盛んに求めています。ですから中検でもコミュニケーションのカナメである「発音」問題の配点が下がることはありません。気持ちを切り替えて、いっそのこと発音問題を得意分野にして、高得点を目指しませんか。

では、中検合格にはどの程度の単語数が必要でしょうか。中検 HP を見ると、4 級は「単語の意味、漢字のピンインへの表記がえ、ピンインの漢字への表記がえ、常用語 500~1,000 による中国語単文の日本語訳と日本語の中国語訳」、3 級は「常用語 1,000~2,000」とあります。ただ、哀しいかな、中検 HP は具体的な単語を示していません。

こんな時には市販の問題集の単語表も一つの目安になります。例えばアルクの『キクタン』は 4 級 560 語、3 級 1008 語を挙げていますが、これは最小限の必須単語です。愛大の 1 年生のテキストなら少なくとも 400~500、多いと 700~800 の単語を習います。4 級だと、余分なお金をかけずにテキストと CD できちんと復習すれば、少くみつもっても 70% の得点を狙えます。ちなみに 3 級は必要な単語数は一気に増えて、1500~1600 になります。

『キクタン』のキャッチコピー、「中国語学習者がなかなか覚えられないピンインも、『間違えやすい部分を付属の赤チェックシートで隠す→CD を聞きながら確認する』ことで、しっかりマスター」はかなり実用的な勉強法で、私の学生時代の勉強法もこれに近いものです。『キ

クタン』は私の先生や同学が書いているので当然と言えば当然ですね。私も発音攻略のアドバイスを求められると「テキストの CD を聴きながら、自分の口で実際に発音して、同時に手も動かして紙に漢字で単語を書く、その次はピンインで」と言う単純作業の繰り返しを提案します。遠回りのようですが、これまでの教え子を見ていると、これに勝る近道は無いようです。方法はこんな感じです。

4 級の場合 授業のテキスト・付属 CD、あるいは中検の問題集を一冊

- ① CD 音声を聴いて、発音しながら、紙やノートに漢字を書き取る
- ② CD 音声を聴いて、発音しながら、書き取った漢字の右隣にピンインを書き取る
- ③(①②を繰り返しながら) 正しく書けたものを消していく。
- ④(①②③を繰り返して) 全部できるまでやる。

必須単語を完全に準備したければ光生館の問題集もオススメです。かなり心配性なひとでも安心の 4 級 1600 語、3 級 2500 語が揃っています。おトクと言えぱおトクですね。

試験合格にはテクニックも必要ですから、受験前に必ず一回は過去問や問題集を解いて慣れさせておきましょう。単語帳や問題集には各級で覚えておくべき単語一覧が付いていますから、単語を機械的に覚えていくにも便利です。なお、自腹で一冊分投資すれば、投資回収の意欲も違ってきます。それから、愛大には便利な中国語 e-learning もあります。パソコンとネットが繋がる環境があればいつでもどこでも中国語検定の対策ができます。こんな説教くさい文章をここまで読んだあなたですから、中検合格の本気度はかなり高いはず。善は急げ、今すぐ対策をはじめてみましょう。

中国語検定に挑戦!!

文学部 2 年 川口 舞

私は一年生の秋に中国語検定準四級と四級の二つを受験しました。大学に入学して、はじめて中国語に会いその面白さの虜になりました。授業も一番楽しみにしていたし、一生懸命に取り組んでいました。そんな中、先生のお声掛けもあって、学習の目標として検定試験の受験を決意しました。最初は準四級のみを受験するつもりでした。中国語検定四級は、目安として第二外国語で一年間履修程度のレベルであり、半年しか勉強していない私には未学習部分もありました。ギリギリまで悩みましたが、中国語に対する熱い気持ちから二つの受験を決意しました。

しかし決意したものの、残された時間は一か月あまりしかなく、検定対策問題集を一冊仕上げる時間ありません。私は中国語の先生の協力もあって、準四級、四級それぞれ過去十年分以上の過去問だけに集中して取り組みました。過去問をひたすらに解いていくうちに分かってきますが、中検はとっても出題傾向が分かりやすいです。聞かれることは大体決まっています、毎回のように同じような問題が出ます。なので、どれだけ中国語が出来ても、どれだけ一生懸命勉強しても、ポイントを押さえることができないと点数は伸びません。数をこなすと自分の苦手な点も明確になってくるので、私はそれをポストイットに記入して部屋や手帳に貼り付けて常に意識するようにしていました。

リスニングについては、まだ自らの声調も安定しておらず、耳も慣れていなかったので毎日聴く必要がありました。毎日決まった時間を確保するために LL 視聴室での学習を心がけ

ました。LL 教室には過去何十年分の過去問があり、視聴室では CD を聴くことができます。平日は 19 時までやっていて沢山の過去問で練習することができました。私がやったことは本当に単純でとにかく沢山の過去問を解いて、リスニング問題は毎日取り組み、自分自身で傾向、パターン、ペースを体得するということのみです。

検定は自分の励みになり、やる気を高めてくれます。皆さんもチャレンジしてみてください。



ロシア語検定試験に挑戦

経済学部 清水 伸子

現在、日本で受験できるロシア語検定試験は（通訳ガイド試験を除いて）東京ロシア語学院のロシア語検定試験と T P K H（「外国人のためのロシア語検定試験」）の二種類ありますが、文法・語彙に関する試験内容の手堅さと、過去問が入手可能、受験の手軽さ（各都道府県にある日本ユーラシア協会を受験可能）から言って、東京ロシア語学院のロシア語検定試験受験をお勧めします。

各級のレベルについて

このロシア語検定試験は、4 級から 1 級までのレベルに分かれています。4 級と 3 級が初級文法事項を確認するレベル（3 級には、一部中級文法の内容が含まれます）、2 級以上が中・上級文法事項を確認するレベルとなっています。

愛知大学語学教育研究室的奨励金申請対象は 4 級以上ですし、大学 2 年生までの授業内容は

だいたい4級3級の試験内容に対応していますので、ここからは4級と3級試験に向けた勉強の仕方を紹介していきます。

4級試験と3級試験

4級と3級試験は、文法確認、露文和訳、ロシア語作文、そして朗読（4級。アクセント記号つきテキスト）あるいは聞き取り（3級）の4つに分かれています。

<発音と文法事項>

発音に関しては、キリル文字は大体書いてある通りに発音すればよいので、語末の有声子音の無声化と、後続子音に合わせての無声化（あるいは有声化）、У Т О の発音を押えておけば大丈夫でしょう。

文法では、日本語の助詞（てにをは）が果たす役割を担う格の用法とその変化の暗記が初級文法での必須事項です。4級は、格変化に関しては選択式で出題されますので、形容詞の格変化がうろ覚えでも、名詞の格変化さえしっかり覚えていれば正解できます。名詞の変化の暗記が大変という人は、まず－硬子音、－о、－аで終わる名詞の格変化から覚えましょう。この3種類の語尾で終わる名詞は他の語尾で終わる名詞に比べてかなり多いので、練習問題にも本番の試験にも大変有用です。そして、とにかく6格の基本的な用法を特にしっかり暗記しましょう。前置詞に関しては、4級3級は文法問題で出題されるものが大体決まっていますので、過去2年分の問題から拾っておけば十分だと思います。

動詞に関しては現在・過去・未来の3時制を聞く4級に対して、3級は命令形、運動・移動動詞の活用変化と用法の理解が問われます。100ページ程度の薄い教科書しか手元に無い人は、運動・移動動詞だけは詳しい参考書で練習問題をこなしてから、過去問をやってみたほう

が良いかもしれません。また、3級に挑戦する人は動詞の命令形を押さえておくほうが良いと思います。

<語彙>

4級の試験の語彙は500語レベル、3級は1000語レベルとされていますが、過去問をやりながら単語カードを作っていけばよいでしょう。4級は、ざっと目を通せるぐらいの薄い初級文法だけの教科書で使われている単語でほぼ8割がカバーできます。

3級挑戦者は、4級の語彙に曜日・月名・数詞・比較表現などが加わります。

ロシア語検定試験では、自分のことをテーマとするテキスト和訳や作文が出題されます。身の回りにあるもの（たとえば「机」、「鏡」）に、ロシア語の単語を書いて貼っておくと覚えるのも楽になります。試してみましょう。

<和訳とロシア語作文>

和訳にロシア語作文!?絶対無理!と敷居が高そうな気がしますが、基本的には4級3級の和訳、作文、朗読文、聞き取り本文も、その内容が日常生活の様子に関するもの、例えば、私（あるいは友人の）のある1日の過ごし方とか、私（あるいは家族、友人）の紹介（趣味・仕事など）といったものです。ロシアでは、外国語を学習する時に、文法学習と同じぐらい音声による会話学習も重視する伝統があり、東京ロシア語学院の検定試験もそれを踏襲しています。4級のロシア語検定試験に朗読という音声面をみる試験が入っている理由もここに 있습니다。文法を十分に知らないうちから会話表現を学習をするわけですから、自然とそのテーマは「私」の日常や、友人・家族のことに絞られてくるわけです。

インターネットで言語の検定試験マニアが、『「好き」とか「欲しい」といった不規則変化動詞や所有構文も、まず「私」が主語のときの形を覚えておくべし』とロシア語4級体験談を書

いていましたが、なるほどと思いました。基本単語は不規則活用をするものが少なくありません。活用は全ての形を一度に覚えられれば面倒はないのですが、どうしても覚えにくい場合には、まずは会話に出てきやすい「私」と「君」に対応する形を覚えると和訳や作文、朗読は攻略しやすいと思います。

文法説明とともに会話文も載せている教科書というと分厚いものになりがちです。この分厚い教科書をやりきらないと4級の試験を受けられないと思うと、せっかくの意欲がしぼんでしまいそうです。ですから、そういう本で勉強することはお勧めしません。4級や3級の過去問2～3回分を丁寧に勉強すればほぼ対応できます。作文や和訳に恐れないで下さい。

<朗読>

最後に、朗読の攻略法です。

英語はアクセントのある音節を高く上げる傾向がありますが、ロシア語は逆です。また、平叙文や疑問文のイントネーションは英語と全く違いますので、テキスト付属のCDなどで発音練習する必要があります。NHK 講座はテキストが少し短すぎて検定試験攻略には直結しないように思いますが、朗読についても検定試験過去問についている3級の聞き取り問題の音声CDを使って発音練習すると良いでしょう。

ロシア語検定試験はとにかく過去問数回分をやってみることが何よりの近道です。ロシア語検定試験過去問は解答とともに大学で利用することができます。名古屋校舎ではメディアゾーンに、豊橋校舎ではLL 自習室の検定試験問題をおいてある棚がありますので、ぜひ利用してください。

ハングルの各種検定について

国際コミュニケーション学部 片 茂永

近年、韓国文化への関心が高まる中、ハングル勉強に挑戦する人々が年々増えています。それ自体はとても微笑ましいことではありますが、しかしそれが1回きりの好奇心に終わらないためには、検定試験に合格しておくのもいい方法かと思います。とはいってもハングルを勉強してから挑戦できる検定試験には一体どういう種類のものがあるかよく分からないと答える学生が多かったので、その種類や受験方法についてご紹介したいと思います。

一つ目は、韓国語能力試験です。これは韓国の教育部が外国人に対する韓国語教育を目的に開発し実施する検定試験です。級別は、1級から2級（初級）、3級・4級（中級）、5級・6級（上級）となっていますが、通常の級と逆に難易度が設定されていますので注意が必要です。級別レベルですが、1級は基本文型と基礎語彙1,000語程度を用いた短い文を読み、理解し、簡単な挨拶、慣用的な表現が可能な程度を要求します。

2級は平易な韓国語を話し、読み、書きができ、基本語彙を1,500～3,000語程度用いた文章を理解、簡単な対話が可能な程度です。3級は日常生活において語彙に不便がなく、よく使われる言葉、文章をゆっくり聴けば充分理解でき、短い文で意思伝達が可能な程度。そして4級は、日常言語の使用は充分可能で、電話での問題処理も可能、一般文章の構造はほとんど理解できる程度です。なお5級は、日常言語活動において不便がなく、文書（新聞記事、説明文、書簡等）やテレビ・ラジオのニュース、平易な解説等を理解し、自分の意見を述べられる程度。6級は高度な言葉、文書（新聞、雑誌、教養書、

文芸作品等)やテレビ・ラジオ・講演等の内容を充分理解し、文書又は言葉で正確に伝達でき、討論で自分の意見を正確に述べられます。

二つ目はハングル能力検定試験です。この試験は南北(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)の、いずれの正書法(綴り)も認めたハングル検定試験ですが、1級・準1級では面接もあります。主催は東京都港区にあるハングル能力検定協会です。級別は1級・準1級・2級・準2級・3級・4級・5級です。

級別レベルですが、1級は高度な内容(一般社会の常識の範囲)のハングルを聞き、話し、読み、書くことができます。常識・経験・知識・判断など積極的に用いて、記述された事実を様々な視点から検証しつつ読み解くことができます。本国で授業が聞けますし、ハングルで討論ができます。準1級は400時間程度の学習レベルですが、つまり高度な内容(一般社会の常識の範囲内)のハングルを聞き、話し、読み、書くことができます。映画やテレビ、ラジオ放送が十分に理解できますし、スピーチ、通訳ができます。2級は200～300時間程度の学習レベルで、日常生活や職業上の用務を果たす上で必要な、一般的なハングルを聞き、話し、読み、書くことができます。電話で会話ができ、新聞、雑誌等を読んでほとんど理解できます。

準2級は、150～180時間程度の学習レベルですが、日常生活に必要な一般的なハングルを聞き、話し、読み、書くことができます。電話で簡単な会話ができ、辞書を引いて新聞、雑誌等を読んである程度理解できます。簡単なメールを読んだり書いたりもできます。

3級は120時間程度の学習レベルで平易なハングルを聞き、話し、読み、書くことができます。ホテルで予約したり郵便局で手紙を出したりもできます。駅などの窓口で用を足すくらいの簡単な会話ができます。基本的な説明文、広

告文などが理解でき、簡単な文章を正しく書くこともできます。

4級は50～60時間程度の学習レベルで、基礎的なハングルを読み、書き、聞き取ることができます。初歩的な語句で簡単な挨拶や紹介ができ、ある程度辞書を使うことができます。基礎的な単語で短い文章を書くことができます。

5級は、20時間程度の学習レベルですが、ハングルを習い始めた初歩の段階です。ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができますし、1から10まで数えることができます。決まり文句としての簡単な挨拶もできます。

三つ目は通訳案内業(ガイド)試験です。これは、外国人観光客のガイドとして活躍するために、都道府県知事が発行する免許で、試験は難しく収入は経験と実力によって差が出てきます。外国人に日本の文化・地理・歴史を紹介するのが主な仕事ですがハングルは英語よりは甘いらしいです。レベルですが、韓国語能力試験4・5級、ハングル検定2級程度の語学力に加え、旅行業に必要な日本についての一般常識です。

以上、三つのお試験を紹介してみました、皆さんはどれに挑戦しますか?

ハングル検定試験を受験して (インタビュー)

短期大学部 2年 戸澤 智美

(ハングル検定3級の合格おめでとうございます。以前、ハングル語がとても身近な存在としてあったと聞きましたが、どんな環境だったのか教えてください。)

母親が韓国出身なので、子供の頃からハングル語を耳にしていました。なので、勉強したというよりも、自然に身についていたという感じです。初めて話した言葉も、「オンマ(日本語:

ママ)」でした。

(ハングル検定を受けようと思ったキッカケは?)

形に残る資格がほしくて、受験を決めました。
(試験勉強を進めていく中で、大変だったこと、
心掛けたことは何ですか?)

市販の参考書を1冊買いました。内容は構文中心で、過去問や例文の記述がなかったので、実際の出題形式に沿った勉強ができなかったことが不安でした。心掛けていたのはリーディングです。勉強の中でハングルの音を文字として見たとき、これまで自分が意識していた文字と違うことを発見しました。例えば、日本語で「すみません」と聞こえた音が、文字でみると「すみません」と書かれている。音から入った私には、こういった結びつきを考えることがほとんどなかったので、この発見は新鮮でした。文字としてのハングルを学ぶことができ、とても良かったです。

(今後の目標は?)

来月(6月)準2級を受験します。音と文字の結びつきを理解するには、まだ時間が必要だけど、レベルアップしていくことが嬉しいので、この課題をしっかりと強化して、合格を目指したいと思います。

(韓国語を学んでいる方に何かメッセージをお願いします。)

今は韓国の音楽やドラマなど、韓国語を身近に触れる機会が多いので、そういった音や映像を活用して楽しみながら勉強したり、韓国語と日本語の成り立ちの違いを理解していく基本が大事です。また、韓国へは比較的行きやすく、勉強した成果をすぐに実践できるので、時々その環境の中に身を置くことも学習意欲を高める秘訣だと思います。

(インタビューー：豊橋語学教育研究室 加藤雅子)

挑戦するぞ!! タイ語検定

国際コミュニケーション学部 加納 寛

名古屋校舎にタイ語が第2外国語として登場して1年チョイ。タイ語履修者も日増しに増えてゴキゲンな今日この頃です。タイ語としては、「将来役に立つ言語ナンバー・ワン」を目指して日々がんばっています。

さて、「将来役に立つ」にも、いろいろな役立ち方がある訳ですが、大学生としてはやはり、将来のお仕事で役に立つ、ということを考えるのではないのでしょうか。そこで今回お勧めするのがコチラ!! 「タイ語検定」です!!

タイ語力を測る検定には、様々な種類があります。タイでは、日本人学校の先生たちが取得を義務付けられている「ポー・ホック」試験などが一般的です。これは、タイ人の小学6年生と同程度のタイ語力があることを証明するための試験です。日本国内では、日タイ言語交流センター主催の「タイ語検定試験」と、日本タイ語検定協会の「実用タイ語検定」とがあります。愛大では、前者の4級以上、後者の3級以上を取得すると、奨励金の対象となります。がんばってね!!

では、日本で受験できる(どちらも名古屋で受験できます!!)2つの検定を見ていきましょう。

1、タイ語検定試験

例年、5月と11月に行われます。1級から5級まであり、全ての級で筆記試験とリスニング試験があります。1級と2級では、面接による口頭試問が、1次試験の1か月後くらいにあります。各級の基準は次の通りです(詳しくは<http://nichithai.com/> 参照)。

5級：タイ文字の読み書きができること。基

本的な文法を理解し、表現できること。初級単語の読み、およびごく初歩的な会話（あいさつ以上）・文章の聞き取りができること。語彙数約500。

4級：文字が自由に読め、旅行等の場面で意思の疎通ができる会話が可能なこと。一般文法を理解し表現できること。基本単語の読み、および初歩的な会話・文章の聴き取りができること。語彙数2000程度。

3級：日常会話および新聞や雑誌の一般記事（特に専門用語を含まないもの）などの大意をつかむのに必要な文法・語彙を有しており、正しい発音ができること。常用単語の読み書き、および文章の聴き取り・組み立てができること。

2級：社会生活に必要なタイ語を正確な発音で使いこなすことができ、タイでの日常生活に困らないこと。仕事の場面でもタイ語を使え、新聞や雑誌の社会面を読み、訳すことができること。一般通訳、翻訳に不自由しないこと。

1級：極めて高度なタイ語運用能力を有し、新聞・雑誌の政治・経済面、一般文献なども読みこなし、法廷・会議通訳、一般翻訳などができること。

本学としては、1年間勉強した人には4級を、2年間勉強した人には3級を、さらにタイに留学をした人には2級を目標にしてもらいたいと思っています。2級があれば、タイ語を武器に就職したり仕事したりすることが可能になります。なお、愛大生は、加納に連絡してくれれば推薦者割引受験制度の適用が受けられますので、かなり「お得!!」に受験することができます。過去問もメディア・センターに完備してありますので、ドンドン利用して下さい。「タイ語演習」の授業でも、検定受験準備を心がけています。

2、実用タイ語検定試験

こちらは、上の「タイ語検定」に比べるとかなりやさしめです。5級に至っては、タイ文字なんて知らなくても、カタカナ (!!)で受験できてしまうほどのお手軽さです。2級以上は口述式の2次試験があり、3級までは年2回、準2級以上は年1回開催されています。各級の基準は次の通りです（詳しくは <http://www.thaigokentei.com/> 参照）。

5級：初歩的なタイ語をカタカナ表記とローマ字発音表記で理解することができ簡単な会話が可能レベル

4級：初歩的なタイ語をタイ文字で理解することができ、簡単な会話が可能レベル（学習時間は約45時間程度のレベル）

3級：日常生活を送るのに必要なタイ語を十分理解し、簡単なタイ語書籍の読解が可能レベル（タイの小学2年生以上のレベル）

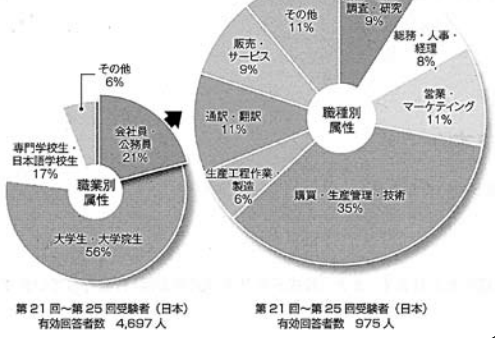
準2級：社会生活を送るのに不可欠なタイ語を理解し、企業での実務や職務上においてタイ人との意思疎通が可能レベル（タイの小学3年生以上のレベル）。

2級：社会生活を送るのに必要なタイ語を十分理解し、新聞記事の読解、音声ニュースの聴解、簡単なタイ語翻訳やタイ語通訳が可能レベル（タイの小学4年生以上のレベル）

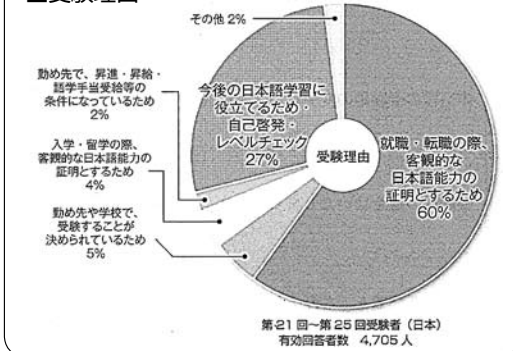
1級：より高度なタイ語能力を有し、タイ語翻訳者・タイ語通訳者として通用するレベル。（タイの中学1年生以上のレベル）

いずれの試験も、日本社会におけるタイ語の重要性に比して、まだまだ級を持っている人が少ないのが現状です。愛大生には是非!! こうした資格をとって、将来に羽ばたいてもらいたいものです。トンデケー!!

■受験者の属性



■受験理由



以前は、外国人ビジネスマンの受験生が圧倒的でした。しかし、ここ数年、就職氷河期が言われたして一層、キャリアを求めて大学での留学生の受験数が飛躍的に伸びています（上のグラフ）。まずは、「9割が日本人の職場でも円滑に業務を遂行できる」といわれる「J2」を目指してみてください。

検定試験体験記

経営学部4年 紀 薇薇

私は中国から留学しに来てもう5年目となる。日本語に関しての検定試験は3回経験がある。日本語検定試験1, 2級を合格し、大学三年生の時に、就職活動に役にたとうと思って、ビジネス日本語（BJT）という試験を受けて、J1というランキングに入った。

まず、日本語検定試験から言うと、それは大学に入ってから、忙しい日々が続いている中では、日本語の勉強時間は日本語学校より短くなると思う。なので、私はおすすめ勉強方法は、もちろん、日々の日本語の勉強は大事であるが、試験の半年前に集中的に文法や単語を勉強したほうが良いと思う。2級の文法は普段よく使うものなので、覚えやすくて、生活にも役に立つと思う。しかし、1級の文法は正式なもので、よく論文や書類に使うものなので、固い日本語だと気がするかもしれないが、覚えにくいと思う。そして、自分が覚えたと思っても、何週間たってから、また忘れてしまうので、常に復習しないといけない。単語の方では、私は本屋さんで2級と1級の単語の本を買っていたが、毎日20個ぐらいを覚えることが計画したのが、実際やってみると、20個では予想よりは大変ではなかった。意外に順調に続けていた。後は聴解の方は、私は特に勉強をしていなかった。なぜなら、普段の生活をしていると、バイトでも、学校でもよく回りの日本人の友達とおしゃべりするから、それは聴解の練習だと思って、あまり本で勉強はしなかったからだ。

次に、ビジネス日本語試験から言うと、それは名前から見ると、もうわかるように、ビジネス場面でよく使う日本語の試験である。この日本語は私たち普段に使う言葉とは違って、敬語は高く要求されている。日本語流暢に話せても、敬語は完璧話せるという自信がある人はほとんどいないと思う。なので、この試験に対しては、CDを聞きながら、間違えるところは暗証することをおすすめしている。

日本語の検定試験は私たちの日本語力をどのくらいのレベルに達成しているのかを示してくれるので、とにかく色々な試験に挑戦しましょう。

洋書を楽しく読み終える

～「虹読み」のおススメ～

法学部 小坂 敦子

少し前のことですが、本棚からページもすっかり茶けてしまった古い本が出て来ました。タイトルは*The Last Battle*¹で、『ナルニア国物語7(さいごの戦い)』²という題で邦訳も出ています。中を開いてびっくり。私の筆跡で、調べた単語などが書き込んであります。おそらく大学時代に「英語を学ぼう」という志を持って、「読もうとした」のだと思います。

書き込みがあるのは本の半分ぐらいのところまでですから、そのあたりで挫折したようですが、「それを読もうとした」という記憶すら残っていません。

実は、数年前に、『ナルニア国物語』は1巻～7巻を英語で読みました。この時は、本に引き込まれて夢中で読みました。内容の細かい部分はすでに忘れ始めていますが、「この本を読んだ」という記憶すら失うことは、ちょっと考えにくいのです。そう思うと、大学時代に同じ本で挫折したときは、(読もうとした記憶すらないので)読んだ部分もちゃんと理解して読んでいたのか怪しいものです。

皆さんの中にも、英語での読書を楽しみたいと思っている人もいます。「とても楽しい!」と現在の私は実感していますので、皆さんにも、ぜひ、楽しんでいただきたいと思います。

とはいえ、200ページ程度の英語の本をいきなり読み始めるのは、準備なしでマラソンを走ると似ている気がします。体力があれば楽しめるのかもしれませんが、昔の私には無理でした。

では「英語を読むことについての体力のない人」は、どうすればいいのでしょうか? 私は「虹読み」をお勧めしています。これは他校の先生が自分の生徒に薦めている読み方だそうです。話を聞いて「なるほど」と思いました。

虹には複数の色があります。英語を読む時も、自分の読みたい本が200ページ程度あれば、自分の「英語を読むリスト」に、それ以外の複数色(他の本や雑誌、ウェブサイト等)を加えるということです。

本に限って言えば、複数冊同時に「虹読み」するときのポイントは、「難易度や長さの異なるものを選ぶ、最初は易しめの本を沢山入れる」だと思います。特に長めの本を読んでいる時は、隙間時間等で、短い本をどんどん読み終わることをお勧めします。

英語の苦手な人でも楽しく読めそうな本は、愛知大学図書館の多読コーナーを中心に、幅広い段階であります。大人にも楽しめる英語の絵本、児童向けの5分で読み終わるような本、50～80ページぐらいの本、100～200ページの本等々です。その中から、簡単に楽しく読めそうな本のごくごく一部を紹介しますと、例えば、Shel Silversteinの*The Missing Piece*³



は幅広い年代で楽しめる絵本ですし、Peter H. Reynoldsの*The Dot*⁴は教職に興味のある人にもお勧めしたい絵本です。Cynthia RylantやKate DiCamilloという作家名で検索すれば、どちらも児童向けの5～10分程度で読めそうな超簡単シリーズ⁵から、児童文学の章を取った名作⁶まで、幅のある作品が出来ます。

英語の「虹読み」候補の楽しい本は沢山ありますので、ちょっとした時間を活用して、何冊もどんどん読み終わらしましょう。そうするといつのまにか、自分が200ページ以上の英語の本も、スラスラと、しかも日常的に楽しみながら読んでいることに気付くと思います。



- 1 C. S. Lewis著の*The Last Battle*は1956年にBodley Headより出版。私のもっているのはPenguin Books版です。
- 2 C. S. Lewis著、瀬田貞二訳、ポーリン・ベインズ絵、岩波書店より1966年に出版。
- 3 Harper & Rowより1976年に出版。
- 4 Candlewick Pressより2003年に出版。
- 5 Cynthia RylantのPoppletonシリーズ(Scholasticより出版)、Kate DiCamilloのMercy Watsonシリーズ(Candlewick Pressより出版)は、どちらも図書館に6冊ずつあり、字も大きいので、英語の苦手な人のウォーミングアップにいかがでしょうか?
- 6 Cynthia Rylantですと、*Missing May*(Scholasticより1992年に出版)は1993年のニューベリー賞を受賞した名作です。*I had Seen Castles*(Harcourtより1995年に出版)もいい本です。Kate DiCamilloですと、*The Tale of Despereaux: Being the Story of a Mouse, a Princess, Some Soup, and a Spool of Thread*(Candlewickより2003年に出版)が2004年のニューベリー賞を受賞しています。

2012年度 第18回 外国語コンテスト (名古屋校舎) 報告

外国語コンテストは2013年度も11月に開催されます。詳細は10月ごろお知らせします。

ことしはあなたもぜひチャレンジを!!

英語部門

2012年度外国語コンテスト英語部門は、11月1日(木)の午後に実施され、10名の参加者が自作の英語スピーチを発表しました。

審査委員には、本学法学部のハミルトン先生と、南山大学のドライデン先生をお迎えし、スピーチの内容、表現の正確さ、発音の流暢さ、プレゼンテーションのスキルの観点から評価をして頂きました。

審査の結果、入選者は以下の通りとなりました。

- 1位 08C8183 林 在訓
- 2位 11M3120 辻 法子
- 3位 11J1189 加藤 文香
- 3位 10M3050 木村 貴仁

林くんは“The Real Sense of Language”というタイトルのスピーチで、自身の日本語と英語の学習経験を基に、言語を学ぶことはどういうことかについて考察を加えました。流暢で分かりやすい英語で、身振りを交えて伝えられた点が評価されました。

辻さんは“The Significance of English Skills in This Age of Globalization”というタイトルのス



表彰式会場にて 入賞者のみなさん
2012年11月29日

ピーチで、グローバル社会の中で企業における英語の重要性を論じました。明瞭で聞きとりやすい発音と、経営学部生らしい視点が評価されました。

加藤さんは“A Friend's Importance”というタイトル、木村くんは“Thinking”というタイトルのスピーチで、両者とも恋愛の楽しさと悲しさについての内容となり、3位を分け合う結果となりました。

入賞者以外のスピーチも、それぞれに完成度が高く、また個性豊かなものでした。今回は新キャンパスに移転して初めてのコンテストでしたが、例年に比べて教員や学生の観覧者も多く、恒例となっているコンテスト後の茶話会も盛況となりました。

(石原 知英)

ドイツ語部門

2012年度の名古屋語学教育研究室主催第18回外国語コンテスト・ドイツ語部門の本選が、2012年11月19日(月曜日)の午後6時10分より名古屋校舎講義棟8階にあるL802教室でおこなわれました。その結果を報告したいと思

います。

今回の課題は、有名なグリムの童話から、“Sneewittchen”（『白雪姫』）を選びました。内容は、皆さんご存知のことと思います。残念ながら時間の制約があり、物語の冒頭でお妃様が鏡に問いかけるあの有名な場面までをあつかうこととしました。参加者は1年生を中心に4年生までと幅広く、人数は15名と、ドイツ語部門としては昨年と同様かなりの人数が集まりました。

審査にあたったのは、愛知大学名古屋校舎でドイツ語を担当している2人の教員で、国際コミュニケーション学部所属のグロス先生と経営学部所属の島田です。表現力と発音・アクセントの合計点で審査をおこないました。

課題文は短いものではありませんが、授業のテキストとは違い、現代では使われない少し古い表現や文法もあり、十分な練習が必要です。参加者は各自で熱心に練習に取り組んだ様子で、その完成度は高くいずれも優劣つけがたいものでしたが、残念ながらわずかの差で順位を決めなければなりませんでした。その結果は、第1位（優勝）林興弘さん（12K1108）、第2位平原加奈さん（12K1031）、第3位木村栞さん（12M3244）となりました。

今回が名古屋市ささしま地区にあるキャンパスでの最初のコンテストになりました。それまでの3学部から5学部へと対象の学部の数も増え、参加者の層は今まで以上に厚く多彩となり、今後の発展がますます期待できる結果となりました。最後になってしまいましたが、この場を借りてコンテストの実施に協力いただいた皆さんにお礼を申し上げます。

（島田 了）

フランス語部門

2012年度のフランス語部門コンテストは11月22日（木）に笹島校舎の図書館・ミーティングルームにておこなわれた。12名の学生が応募してくれたが、当日、1名の学生が体調不良により欠席したので、11名でコンテストをおこなった。

昨年までは出場者の大部分が1年生であったが、笹島校舎に来てから、フランス語を継続的に勉強する学生が増えたので、1年生4名、2年生6名、4年生1名という構成で、今まで以上にレベルの高いコンテストが期待された。

予選部門ではフランスの代表的なシャンソンである *Au clair de la lune*「月明かりで」を選んだ。歌うも良し、朗読するも良し、学生の主体性に任せることとした。

予選の結果はやはり上級生の強さが目立ち、4年生1名、2年生4名、1年生2名の7名が決戦に進んだ。

決戦ではシャンソンにちなんで、フランス国歌の「ラ・マルセイエーズ」とした。田川先生が事前に音源を用意してくださったので、学生諸君にはその場でだいたいの雰囲気は飲み込めてもらえたようである。

予選を勝ち抜いただけのことはあって、ハイレベルの決戦となったが、国際コミュニケーション学部のラッセン先生を中心として審査していただいた結果、以下のような順位となった。

1位：11J1266 高瀬 裕介

2位：09K1031 志知 眞梨彩

3位：11J1269 奥村 萌子

1位の高瀬君は昨年に引き続き、2年連続の優勝となった。ほとんど間違いのない安定した朗読ぶりであった。2位の志知さんは留学を終えたばかりで、フランス仕込みのすばらしい発音であったが、初めてのコンテストで若干緊張

したのか、いくつかミスをしたのが悔やまれるが、その発音の美しさはロビーの学生からもため息が出るほどであった。3位の奥村さんも極めて正確な発音で、来年、再来年と更に発音が上達するであろうという伸びしろを感じさせる朗読であった。

今後とも学生諸君が継続してフランス語を学習して、フランス語コンテストがその成果を発表する場となるように祈っている。

(中尾 浩)

中国語部門（現中以外の四学部）

中国語部門は専門で学習している現代中国学部以外の4学部の学生を対象に、ピンインなしの中国語の課題文章の「朗読」でコンテストを実施しています。法、経営、経済、国際コミュニケーションの4学部の1、2年生で中国語を必修で履修している学生はあわせて700名近くいる訳ですが、今回のコンテストにエントリーしたのは1、2年生あわせて10名ほどでした。参加人数こそ少なかったのですが、どの参加者もそれぞれの学習段階から見ても立派な発表をしました。コンテストでは鄭高咏、葛谷登、塩山正純の3名の中国語教員が審査を担当し、主に有気音と無気音、声調、子音や母音が中国語の音としてきちんと発音出来ているか、それから表現や話すときの抑揚など話し方のテクニックがどれだけ身に付いているか、を基準にして見させて貰いました。とくに上位の3名程は甲乙つけがたかったのですが、審査の結果、第1位には国際コミュニケーション学部2年生の杉浦淑美さんが選ばれました。杉浦さんの専門は英語ですが、中国語の学習にも熱心に取り組んでいて、文法や会話の授業で積極的に学んでいることに加えて、コンテストに参加して沢山練習したことが彼女の中国語学習にとってかなり

プラスになったはずです。

コンテストに参加することで「もっと上手に中国語を話したい」という気持ちも強くなります。今年は是非たくさんの皆さんに参加して貰いたいと思っています。

(塩山 正純)

中国語部門（現代中国学部）

第18回外国語コンテストは、ささしま新校舎移転後初のものとなりますが、中国語部門（現中）は、2012年11月22日（木）16:00よりL805教室で、課題部門15名、自由部門9名の計24名の出場者の参加を得て、滞りなく行われました。審査は楊琳先生、陳煒芳先生、薛の3名があたりました。

課題部門は1年生を対象とした課題文の暗誦ですが、15名の出場者がありました。課題文は日本でもよく知られている“塞翁失馬（塞翁が馬）”のお話です。発音、習熟度、内容・表現といった観点から、バランスの取れた表現力が求められます。出場者一人一人の真剣さとそれぞれ独自の工夫に、授業では見られない一面の新発見と微笑ましい思いにさせられ、会場は始終温かい雰囲気に包まれました。

審査の結果、下記の3名が入賞しました。

第1位 12C8064 杉浦 健斗

第2位 12C8073 前田 春香

第3位 12C8069 蛭江 菜穂

第1位の杉浦健斗君は豊かな表現力とパフォーマンスで観衆の笑いを誘いました。第2位の前田春香さんはきれいな発音と自然な語調で私たちを感動させてくれました。第3位の蛭江菜穂さんは一文字たりとも間違えまいと日頃の勉強の姿勢をそのまま見せてくれました。

自由部門は、昨年の出場者が少なかった反省から、今年は早めの準備を呼びかけたのが功を

奏して9名の参加者がありました。内容は実に多岐にわたって様々ですが、どれも自分の考えをしっかりと述べるものでした。

審査の結果、次の3名が入賞しました。

第1位 09C8116 川本 結衣

第2位 11C8015 白石 香織

第3位 11C8003 持田 三琴

第1位の川本さんは“我对中国的印象（中国の印象）”というテーマで、中国留学中の見聞を流暢な文章と巧みな表現と豊かな表情で語ってくれました。第2位の白石さんは“改变命运的通知（運命を変えた通知書）”というテーマで中国語勉強のきっかけを、第3位の持田さんは“你的大学生活过得好吗（充実した大学生活を送っていますか）”というテーマで現地インターンシップに参加するきっかけを、語ってくれました。入賞者以外にも中国研究や国際交流、大学生活を、特筆すべきは1年生からの出場者2名は日中関係というタイムリーなテーマを取り上げました。また、河村祥太君、勝股達君の2名は選考対象外でも参加して、みんなにより手本を示してくれました。参加者全員に対して、その勇気と努力を讃え、感謝申し上げます。

（薛 鳴）

ロシア語部門

みんなでうんとこしょっ！どっこいしょっ！！

昨年、はじめてロシア語部門が参加となりました。しかしながら、名古屋校舎でのロシア語学習者は1年生が30名近くいるものの、2年生以上はほんの数名。新規参入者としてはつらいところ。そして過去の経験がないためテーマ選びも難航。歌ってもらおうか？早口言葉をやろうか？いろいろ悩んだ結果、子供のころに誰しも読んだことのある「おおきなカブ」を朗読

課題としました。

『うんとこしょ！どっこいしょ！』で有名なトルストイの民話「おおきなカブ」は同じフレーズが繰り返し出てくるというロシア民話特有のテキストですが、『おじいさんの後ろにおばあさん、おばあさんの後ろに……』の部分はどんどん早口で、しかしその後の『うんとこしょ、どっこいしょ』の部分はゆっくりという風に緩急をつけて読んだり、朗読者がラジオドラマばりに声で演技ができるテキストでした。ムードルにもYouTube上の「おおきなカブ」のアニメもupし、テキストは授業内でも解説しました。

コンテスト参加者はそれぞれに練習をして本番に臨んでくれたので、甲乙つけがたく、入賞者を決めるのが難航しましたが、とりわけテキストに緩急をつけて情感たっぷりに朗読し、このテキストの面白さを表現してくれた山本高央さん（法学部1年）が優勝、正確な発音でテンポよくリズムカルな朗読で審査員を感心させてくれた古田圭さん（国コミ1年生）が2位、そしてはっきりとした発声で朗々と朗読しロシア語の響きの美しさを実感させてくれた溝口智哉さん（経済学部1年）が3位となりました。全体として、ロシア人審査員山崎タチアナ先生（1年生会話授業の担当）が感心するほどの出来栄で、『入賞は3位（3人）まで』というコンテストルールに審査員は最後まで苦しめられた第1回ロシア語部門でした。

ロシア語部門は今年もやります！みなさん、ふるってご参加を！

（清水 伸子）

韓国・朝鮮語部門

第18回外国語コンテスト「韓国・朝鮮語」の部の本選は2012年11月12日（月）18時10分から実施されました。参加学生は14名で、選択科目として韓国語を受講している2年生以上の学生が多く参加し、激しい競争を繰り広げました。今回は自由作文で挑戦する学生も多く、やる気が今まで以上に伝わってきました。人数は14名と少数ではありましたが、コンテストの準備をしている段階から高い実力の持ち主が多数おり、本選当日もレベルの高さに審査員を悩ませました。その中から受賞者は以下の3名となりました。

第1位 10M3267 加藤 里沙

第2位 09M3229 榊原 涼子

第3位 09J1198 大西 浩生

審査員は、常石先生と韓の二人が担当しました。毎回感じることでありますが、参加者誰もが入賞者に負けないくらいの実力保持者であり、それを遺憾なく発揮してくれたという点を特に記しておきたいと思います。

（韓 銀映）

タイ語部門

タイ語が名古屋校舎においても第2外国語として履修できるようになって半年、ついに!! タイ語が外国語コンテストに出られる日が来ることになりました（パンパカパーン）!!

タイ語部門としましては、学生さんたちが将来タイの人々と仲良くしたりする上で使える技能（会社の接待とか宴会とかも含む）の習得を通じてタイ語力を向上させてほしい、というコンセプト（「宴会とかで受けそうな芸を身に着けよう!!」の合言葉）のもと、タイの人々も大好きなカラオケで活躍できそうな歌謡曲の歌唱

を課題として設定しました。曲名は『チーウィット・マイ（新しい人生）』です。

2012年11月20日16時30分、L703教室は、9人の応募者の熱気に包まれていました。誰が1位の賞金栄冠を手にするのか、いやがうえにも空気が盛り上がっていきます。審査には、『タイ語基礎』を担当する加納のほか、『タイ語入門』担当のイサラー先生、そして審査補助にはタイからの交換留学生でタイ語クラスの人気者オームさんことプライヤーさんが当たりました。応募者は、緊張の中にも鼻の先にぶら下がった賞金栄冠を目指して、みんな精一杯の歌唱でそれぞれの『新しい人生』を表現してくれました。タイ語の発音はもちろん滑らかで、『のど自慢』に出ても満点が取れそうな人からカーンという感じの残念な人まで、心を込めて歌ってくれている様子が感動的で、審査員席は感涙によってチャオプラヤー川級の洪水が起きってしまうかと思えるほどでした。出場者はどうだったかわかりませんが、少なくとも審査員にとっては、とても楽しいひと時でした。

結果、かなりの接戦ではあったものの、次の方々が入賞しました。

1位 12M3076 太田 早紀学生

2位 12M3636 百瀬 勝樹学生

3位 12K1071 丸山 翔也学生

経営学部生の活躍が目覚ましかったです。将来、今回の課題も活用して、会社とかでタイの人たちと円滑な関係を築いてほしいものです。参加者の皆さん、がんばって!! そしてありがとう!!

（加納 寛）

日本語部門

名古屋校舎では約330人（2012年現在）の外国人留學生が学んでいます。外国語コンテスト「日本語部門」は、日本語を母語としない学生を対象に開かれています。今回は2012年11月20日（火）に行われ、「留學生の見た日本」というテーマで、自分の体験を盛り込み、身近な出来事を通して考えたことを、自分のことばで述べることが課題でした。

1年次の留學生は全員参加でこのコンテストに臨みました。全部で70名近くになりますからクラス予選を行いました。日本語の5クラスからそれぞれ2名の代表者が選ばれ、計10名が本選に進みました。また、二年生の自主的な参加者もあり、協定留學生を加えて13名で競うことになりました。

留學生は日本に来た当初は文化の違いに戸惑います。けれど、彼らのスピーチからは異なった文化を経験することで成長する自分というメッセージが伝わってきます。友人とのつきあいや大震災後の日本人のふるまいから日本理解を深めていった人、日本人のつきあい方に中国流のコミュニケーションを加味して友達の輪を広げた人、自国タイの文化を重ねて日本の子供たちは家族をもっと大切にと話した人。出場者のスピーチからはカルチャーショックを成長の糧としてきた留學生活の様子がうかがえました。

審査は、日本語科目担当教員4名（山本・梅田・鈴木裕子・水木）、学生審査員2名（留學生・日本人学生ともにスピーチ入賞経験者）、聴衆約70名の投票によって行われ、接戦の末3名の入賞者（敬称略）が決定しました。

- 第1位 12C8204 佟 安琪（トウアンキ）
「心の絆」
- 第2位 12ES1001 ファンルーン プライヤー
「家族のなかで」
- 第3位 11K2138 烏 寧奇（ウニンチ）
「私の工夫」

次回の外国語コンテスト日本語部門には、日本人学生のみなさんもぜひ聴衆の一人として聞きにきてください。いつも見ている日本とは別の側面を見せてくれることでしょう。

（架谷 真知子）



民話「大きなカブ」の挿絵(1970年)
ロシア人挿絵画家ヴァスネツォフの作品

外国語コンテスト 入賞作

〈英語部門〉

The Real Sense of Language

08C8183 林 在訓

There are lots of international students in Aichi University. They came from various countries to learn Japanese at a university in Japan, where they can always hear Japanese and they are required to use it. I am very interested in learning languages, so I have studied Japanese all by myself and I am currently learning Chinese in addition to Japanese.

It was when I was a middle school student that I got interested in Japanese. I traveled to Japan and it was my first experience to visit a foreign country. I was really surprised because it was true that no one understood what I said and it was true that I was actually in Japan, not in Korea. I was just a small fish in a big pond. Though I was confused in the unfamiliar place, I decided to go to a restaurant. I felt thirsty and I wanted to order water, so I tried to figure out how to say "Water please" in Japanese. As soon as I found the sentence in a dictionary, I said "Omiz kudasai." The waiter understood what I said and brought me water kindly.

I was just shocked at this fact. I didn't know what the meaning of *omiz* is and I didn't know what *kudasai* means, either. I can't forget the moment when the waiter brought me water, though my Japanese was not perfect. Is it the same way that babies feel happy whenever they mumble and people around them understand what they say? This event taught me the pleasure to communicate in

Japanese. It motivated me to study Japanese harder, and time has passed; now I am studying Japanese in Aichi University, Japan!

Throughout the study of Japanese, I have met a lot of people. They are from various countries like England and China, but we communicate with each other in Japanese, which is a foreign language for all of us.

Currently Japan and Korea face terrible difficulties in job hunting. Therefore, quite a few people who want to get a better job are learning the third language to enhance their capabilities. However, I do want to ask a question. Is it really useful for you?

In my opinion, if you learn the third language without any concrete desire, the study is useless and the language has become a dead language for you. Even if you get a high score in TOEIC test or JPT (Japanese Proficiency Test), I don't think it brings you the same amount of happiness as the one people with a strong will have.

I want to claim that learning a foreign or international language is for communication, not for studies. I hope all the audience here will have the same experience as I had at my first travel to Japan. I also agree with my opinion that the real joy of getting knowledge of foreign languages is not to get a good score in the test but to communicate well with various people.

Thank you.

〈中国語部門（現代中国学部）〉

我对中国的印象

09C8116 川本 結衣

今天我来讲讲我对中国的印象。

首先，还要从我跟中国的相遇说起。我13岁时跟父母第一次去中国旅行。那次只是在上海走马观花。当时的上海已经有了东方明珠塔之类的现代化建筑，我们还游览了外滩，外滩的美丽夜景让我一饱眼福。我虽然去过很多国家，但是从来没有感觉到这么深的印象。去中国前听说中国是一个非常落后的国家，到中国一看让我大吃一惊，跟我想象的恰恰相反，上海已经是一个现代化的大都市。真是百闻不如一见。在那里到处可见高楼大厦，我觉得比我住的城市・・名古屋发达得多。在那儿我好像突然遇见我的意中人一样，对中国是一见钟情，喜欢上了上海。就这样我对中国产生了兴趣，我毫不犹豫地决定要学习中文。

因为那次旅游在中国呆的时间很短，只是走马观花。去年我到上海留学时仔细观察了中国，发现中国和日本有很多地方不同。

比如，在中国急性子人很多，他们在洗手间人多时也不排队，买东西的时候也一样，更让我吃惊的是在地铁站，车一开门没等要下车的人下完，站台上的人就冲了进去，这太有点一厢情愿了。所以我听到过有些日本人说中国人没有礼貌等等。

但是，我觉得我们到别的国家要入乡随俗，享受跟自己国家的文化和生活的差异，才能更好地了解那个国家。我有一次一个人坐火车去天津，车开不久，我周围的几个不相识的人开始打起了牌，边吃东西，边聊天，好像久逢老友一样。他们好像一眼看出我是个老外，用很好奇的眼光看着我。当时我也无事可做，感到很无聊。所以应邀参加到6个人的游戏圈里。

我们原本都是陌生人，不到半个小时大家就成了朋友。我感觉中国人的人和人的距离比较近，

短时间里能够融洽无间，他们要说的话似乎是无穷无尽的。

很多中国人喜欢热闹，跟我们日本人不一样。每次我到那里，那种热闹劲儿都会给我很多生活的力量。

由此可见，每个民族都有长处和短处，我希望中国能扬长避短，越来越好。

〈韓国・朝鮮語部門〉

두가지의 친절함

10M3267 加藤 里沙

오늘은 제가 한국에서 여행을 하면서 느낀 것을 말하려고 합니다.

저는 지금까지 두 번 한국에 간 적이 있습니다.

하지만 두 번의 여행 중에 저는 몇 번이나 길을 잃었습니다.

그럴 때마다 언제나 친절한 사람이 말을 걸어 주었습니다.

일본에서는 이러한 친절함을 느낄 수 있는 일이 별로 없다고 생각합니다.

한국에서 느끼는 친절함은 일본의 친절함과 차이가 있다고 생각합니다.

한국의 친절함이란 피부로 느낄 수 있는 직접적인 친절함, 그리고 일본의 친절함이란 마음으로 느낄 수 있는 조금은 소극적인 친절함이라고 생각합니다.

한국을 여행하면서 저는 한국의 친절함, 그리고 일본의 친절함을 알게 되었습니다.

한국의 친절함도 일본의 친절함도 소중한 친절함이라고 생각합니다.

저는 이 두가지의 친절함을 모두 배우고 싶습니다.

지금까지 저의 발표를 들어주셔서 감사합니다.

心の絆

12C8204 佟 安琪

友達と言えば、何でも話せて、相手が困った時、積極的に力を貸すというものだと思います。日本に来る前に、日本人の友達を作ろうという考え方は全然なかったのです。日本語はあまり喋れませんし、考え方も違いますし、友達になてなれないだろうと思っていました。

初めて日本に来た時、日本人は自分の思いを他人にあまり伝えず、また、他人がいやがるようなことは言わないというイメージでした。中国人だったら、仲がいい友達にどこがいいのか、どこが悪いのか、はっきり相手に伝えるタイプですが、日本人はちょうど逆でした。今考えたら、たぶんこれは国と国、人と人の違いかなあと思います。

2年前、私は一人の日本人の友達ができました。バイト先の美紀という可愛い女の子です。ある日、二人一緒に遊びに行こうと約束しました。歩いている時に、私は自然にその子の手をつなぎました。すると、美紀ちゃんから日本では、女子と女子がみんなの前で手をつなぐと、ほかの人たちが「レスビアン」と勘違いするということを言われました。

美紀ちゃんは優しいというか、人を惹きつける魅力的な女の子です。彼女はいつも笑顔で、細い目は三日月のようでした。去年の冬は、二人で一緒にスケートをしました。美紀ちゃんがミニスカートををはいていたので、すごく寒いんじゃないかと感じました。「寒くない？」と聞くと、彼女は「ううん～全然」と答えました。でも、足を触ってみると、とても冷たかったです。そして、その日は、美紀ちゃんから日本の女子はどんなに寒くてもスカートが最高だということを知りました。

その後、私はそのバイトを辞めました。そし

て、いろいろな種類のアルバイトを試してみて、新しい日本人の友達もできました。でも、最初一番つらい時にできた友達はどうしても忘れられません。彼、彼女たちは日本語学校では勉強できないさまざまな知識を教えてくれて、私のつたない日本語を辛抱強く理解してくれました。私たちは一緒に笑って、働いて、遊んで、素晴らしい一年を過ごしました。

今はあの時の事を思い出したら、「友達」という言葉の概念をもっと深く理解できます。国籍と関係なく、ただ人と人、心と心の絆です。中国人は親切で、小さい礼節に拘泥しないです。日本人は礼儀正しくて、いつも他人に感謝の心を持っています。中国人と日本人が一緒にいる時、お互いに補い合っていると思います。人生の旅で、「友達」は神様にもらったプレゼントだと思います。私は彼らから私にとって一番大切なものをもらいました。それは幸せ、それは生涯消えることのない心の絆です。



ทานข้าวแล้วหรือยัง(もうご飯食べた?)

バンコクのワット・ポー 寢釈迦堂壁画は、
昔の人たちの声が聞こえてきそう



e-learning 利用していますか？

2013年度より、さらに便利にパワーアップしました!!

今年度より従来のe-learningに中国語版が追加されました。

中国語コースは、中国語に欠かせない発音やピンインを楽しみながらマスターでき、色々なシチュエーションで使える会話を動画で見られるなど、入門～初中級レベルの人まで楽しく学習が進められるよう工夫されています。中国語検定3級レベルまでの力が養成できるので、検定試験にトライする気でチャレンジしてみてもいかがでしょうか。

英語も2コース追加され、より充実した内容になりました。単語力をつける「PowerWordコース」入門から最上級まで12000の語彙リストが入っています。

次に「TOEICテスト演習2000コース」ですが、こちらは実際の試験と同じ200問・120分のフルスケールから4分の1の50問・30分の受験パターンから選択できます。

[コース一覧]

- TOEICテスト演習2000コース
- PowerWordsコース
- スタンダードコース
- 初中級コースプラス
- 中国語コース



[接続方法]

利用料は無料で、在学中利用できます。学内はもちろん自宅からの接続もOKです。

利用時間も24時間対応していますので、自宅のPCで皆さんの好きな時間に学習をすることができます。接続方法は下記の通りです。



愛知大学公式HP

トップ画面より

左記をクリック

アカウント・パスワードは

Universal Passportと同じ

[学習状況]

アクセス数は日々、増加しております。

昨年より2倍、2年前に比べると約20倍になっています。まだ始めてない方も是非、利用してみてください。

また、使い方がよく分からない、など質問がありましたら下記語学教育研究室までどうぞ。

		2010年度	2011年度	2012年度
スタンダードコース	レベル診断テスト	235	849	1881
	リスニング	475	6484	13646
	リーディング	455	5844	14286
	TOEICテスト練習	197	1265	4022
初中級プラス	リスニング	127	997	738
	リーディング	133	1164	985
	TOEICテスト練習	69	436	410
	TOEICテストパート別練習	75	222	180
	中間修了テスト	0	16	24
計		1766	17277	36172

名古屋語学教育研究室

豊橋語学教育研究室

厚生棟4階

3号館1階

豊橋校舎**「ランゲージセンター」「Language Cafe」
のご案内**

豊橋校舎ではLLシアタールームの新設やLanguage Cafeの運営、施設の名称変更をしましたので、ご紹介いたします。

ランゲージセンター

ランゲージセンターは、本学で開講している主要外国語の英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、日本語（外国人留学生用）をはじめ、世界35言語の資料（定期購読資料、図書資料、映像資料）約10,000点を取り扱っています。映像資料と最新号の雑誌を除き貸出可能です。

また、これらの資料を用いて自主学習を行うLLメディアルームとLLシアタールームを完備しています。

開室時間は、（月～金）9：10～19：00、（土、夏期休暇など）9：10～17：00です。



ランゲージセンター



カウンター



資料棚

LLメディアルーム

個人ブース18席、ソファースペース1席、パソコンブース5席を完備した自主学習ルームです。授業の予習復習やランゲージセンターの資料閲覧、レポート作成など多くの学生に利用されています。



個人ブース



ソファースペース



パソコンブース

LLシアタールーム

LL教室内に完備された大空間の視聴空間です。46インチの液晶テレビやプロジェクター、パソコンを完備し、20名前後での視聴を可能にしています。映像視聴のみならず、プレゼンテーションとしても利用ができます。ゼミやサークルなどで、気軽に利用してください。

利用希望の方は、ランゲージセンターにて必ず予約をお願いします。

※LL教室で講義をおこなっているときは利用できません。



LLシアタールーム

Language Cafe

2012 年度より開催した Language Cafe は、英語、フランス語、中国語のネイティブスピーカーの教員と、授業以外の空間で様々なアクティビティを通して、活きたコミュニケーション能力を養い、その国の「ことば」と文化、世界観を幅広く学ぶことのできる空間です。在学生なら自由に参加ができ、毎日参加する常連学生や昼休みにはオープンカレッジ生も参加しています。

和やかな雰囲気の中、時には真剣な眼差しも感じられますが、ネイティブスピーカーを中心に絶えずイキイキとした話題が広がっています。またこの Cafe をきっかけに、学部学年を越えた新しい交流の輪も広がっており、学生にとっては非常に価値のある Cafe となっています。

開催から 1 年が経ち Cafe の存在が広く知られるところとなり、4 月の Cafe 利用者は昨年度 125 名から今年度は 396 名と大幅な参加があり、開催日は常に大盛況となっています。



開 催 日	開 催 言 語	
	12 : 40 ~ 13 : 15	16 : 40 ~ 適宜
月 曜 日	英 語	英 語
火 曜 日	英 語 / 中 国 語	英 語
水 曜 日	英 語	英 語
金 曜 日	フ ラ ン ス 語	フ ラ ン ス 語

2013年度 外国語検定試験奨励金のご案内

言語	名古屋校舎		豊橋校舎	
	試験名称	基準	試験名称	基準
英語	実用英語技能検定（英検）	準 1 級以上	実用英語技能検定（英検）	2 級以上
	TOEFL iBT	50 点以上	TOEIC	530 点以上
	国際連合公用語英語検定（国連英検）	B 級以上	TOEIC IP	① 750 点以上 ② 前年比100点以上 UP いずれか
	ビジネス通訳検定（TOBIS）	3 級以上	TOEFL iBT	50 点以上
	日商ビジネス英語検定	3 級以上		
	通訳案内士（通訳ガイド）	合格		
ドイツ語	ドイツ語技能検定（独検）	4 級以上	ドイツ語技能検定（独検）	4 級以上
フランス語	実用フランス語技能検定（仏検）	4 級以上	実用フランス語技能検定（仏検）	4 級以上
	DEL F ・ DAL F	A1 以上	DEL F ・ DAL F	A1 以上
	TCF	100 点以上		
中国語	中国語検定	4 級以上	中国語検定	4 級以上
	新 H S K	3 級以上	新 H S K	3 級以上
ロシア語	ロシア語能力検定	4 級以上	ロシア語能力検定	4 級以上
韓国・朝鮮語	ハングル能力検定	4 級以上	ハングル能力検定	4 級以上
	韓国語能力	2 級以上	韓国語能力	2 級以上
タイ語	タイ語検定	4 級以上		
	実用タイ語検定	3 級以上		
日本語	日本語能力（JLPT）	N1 級	日本語能力（JLPT）	N1 級
	BJT ビジネス日本語能力テスト	460 点以上	BJT ビジネス日本語能力テスト	450 点以上
☆中国語は現代中国学部を除きます				
英語 TOEIC は教務課にて申請 在学中 1 回に限ります		650 点以上		

受付け期間 名古屋校舎 2014 年 1 月 31 日まで

豊橋校舎 2014 年 2 月 14 日まで

※詳細は所属校舎の語学教育研究室にて確認してください。

奨励対象者 学部学生・短大生（協定留学生・院生・オープンカレッジ生等は除きます）

訂正 Lingua 創刊号 P.7 「ポルトガル語を話したい 新しい変更と深まり広がる知識」 は
「ポルトガル語を話したい 新しい発見と深まり広がる知識」の誤りでした。

原稿を寄せて頂いた青山さんには大変ご迷惑をおかけしました。

〈編集後記〉

Aichi University Lingua の第 2 号をお届けします。創刊号は何かと不手際があり、編集に携わったものとしては必ずしも満足のいく出来映えではなかったのですが、第 2 号ではできる限り、いろいろな点を修正しました。でも、まだまだ改善点はたくさんありそうです。このところ学生諸君の外国語に対する熱意が以前より強まっているように感じています。そうした熱意に応えるためにも、今後とも皆さんの役に立つような紙面作りに努力していきたいと思いますので、要望などお気軽にお寄せください。（N.H.）